

NEC

システム運用コスト30%削減を目指して
東京海上日動がシンクライアントシステムを導入

東京海上日動火災保険(株) (以下、東京海上日動) は、情報セキュリティ強化やシステム運用コスト (TCO) 削減などを目的に、国内最大級の規模となる仮想PC型シンクライアントシステムの構築を開始した。東京海上日動は本システムの構築にあたり、NECの先進かつ独自機能を有する仮想PC型シンクライアントシステム「VirtualPCCenter (バーチャルピーシーセンター)」を採用した。本システムは、2009年から試行導入し、2010年度から約30,000台を全社展開する計画である。

東京海上日動はこれまで、情報セキュリティに関する管理ルールを多数規定し、各々の遵守状況を常にモニタリングするなど、セキュリティ対策の徹底・内部統制の強化を進めてきた。その取組みの中で、重要情報の保管やデータの社外持ち出しなどの手続きや管理にかかる営業・スタッフ部門の作業負荷が課題になっていた。

本システムでは、端末内にはデータやソフトウェアを一切保存せず、サーバで集中管理・一括運用することが可能に。また、これまで端末毎に人手で行っていた管理ルールの遂行・モニタリングの大半が不要となり、高セキュリティ環境の維持・強化に必要とされる社員の負担やコストの大幅な低減が可能となる。同時に、このような作業に要していた社員のリソースを本来の業務に集中させることで、業務品質の向上、顧客満足度の向上につながるようになる。さらに、従来のパソコン利用時にかかっていたシステム運用コスト (各端末の環境設定、レイアウト変更対応、資産管理、障害対応、セキュリティパッチ適用など、各種運用管理に伴うコスト) を今後、約30%削減できると見込んでいる。

東京海上日動は今後、在宅勤務等のワークスタイル改革や、パンデミックなどの事業継続対策も見据え、本シンクライアントシステムのさらなる活用を検討していく。

NEC 金融サービスソリューション事業部 事業企画部
TEL : 03-5746-3882

ソフトフロント

NTTドコモに
SIP関連ソフトウェアをライセンス提供

ソフトフロントは、(株)NTTドコモに対し、SIP関連ソフトウェア (SIPミドルウェア/RTP制御音声ストリームエンジ) をライセンス提供した。そして本年8月、NTTドコモの100%子会社であるドコモインタータッチ (本社：シンガポール) が展開するホテル宿泊者向けインターネット接続サービスにおいて、同ソフトウェアを利用したビデオチャットサービスの提供が開始された。

ビデオチャットサービスは、ドコモインタータッチが海外のホテル宿泊者向けに提供する高速インターネット接続サービスにおいて、宿泊者が保有するスマートフォンと宿泊者の自宅や友人宅等にあるPCとの間で高品質な通話音声と映像でビデオチャットができるサービスである。観光やビジネスで訪れた滞在先のホテルから宿泊者の家族や友人宛に「招待メール」を送信し、相手がメールに記載されたURLにアクセスし、専用アプリケーションソフトウェアをPCにダウンロードするだけで簡単に利用することができる。本サービスは、今後アジアを中心に、ドコモインタータッチがインターネット接続サービスを提供するホテルに拡大される予定である。

ソフトフロントは、本サービスにおいて、SIPミドルウェア/RTP制御音声ストリームエンジンをベースに、Symbian OSプラットフォームのスマートフォン (Nokia社N95/N82端末) とWindows PC (Windows 2000/XP/Vista) 上で動作する音声/ビデオ通話アプリケーションを開発した。PC用アプリケーションは、ActiveXをベースとしたWebブラウザ上で動作するアプリケーションのためインストール作業が不要。スマートフォン用アプリケーションは、ソフトフロントの音声/ビデオコーデックに対するチューニングノウハウにより、モバイル端末上での高音質・高画質のビデオ通信を実現している。

(株)ソフトフロント 経営企画室 TEL : 03-3568-7007